そこが聞きたい
一般質問 6議員立つ

田中照男　議員
①ゴミ処理の広域化について

片山裕治　議員
①介護予防について
②氷川町まちづくり振興会のアンテナショップ氷川のしずくについて
③スマートインターチェンジについて

三浦賢治　議員
①農業用排水対策について
②危険な空き家対策について

江嵜　悟　議員
①氷川町道路整備基本計画について
②インターチェンジ整備状況について

吉川義雄　議員
①住宅リフォーム促進事業の進捗状況について
②新幹線の騒音・振動による被害状況について
③町内農用地等の雨水対策について

上田俊孝　議員
①地域振興について

質問と答弁の記事は、質問議員の責任でまとめたものを広報委員会でチェックし掲載しています。写真・見出し・答弁者の名前等は広報委員会でつけました。

ごみ処理は八代市との広域化で

田中照男　議員

八代市とのごみ処理の広域計画は

田中　ごみ処理広域化について、昨年から議題になっている八代市とのごみ処理の広域計画はどうなっているのか。また平成23年度7月から8月までに広域に参加するのか、しないのかの返事をもらいたいと要請があったかと思うが、本町は八代市に対していつまで返事をすればいいのか。

八代市の地域計画に基づき進めていく

町民環境課長　ごみ処理の広域化計画は、直近の協議結果では、八代市としては国に提出している地域計画に基づき進めていくとのことです。

広域に参加するか、しないかの返事は、現計画に対して八代市と協議、確認しているところで、判断材料がなく、返答できない状況で、今後、八代市はもとより、国や県の指導や提案に基づく協議内容次第での判断以外にないと思われます。

単独での運営はどうなるのか

田中　広域化ができない場合、単独での運営となるのか。単独となった場合の維持管理等の経費はどうなるのか。

八代市との広域化ができない場合

町民環境課長　将来的に単独施設更新も含めた単独処理方式でいくのか、八代市の条件が整ってから委託するのか、または、随時クリーンセンターを補修し利用できる限度まで単独処理してから、公営または民営の施設に業務委託による処理方針でいくのか選択肢があると考えられます。

その中で、単独運営と判断された場合の維持管理費等は、一炉を再稼働できるように改修して休止するのに約2、000万円、最終処分を外部に委託すると、年間約3億円程度の経費が必要と推測されます。17年度に現施設を解体し新設すれば、建設費として約20億円程度が必要となります。

アンテナショップ氷川のしずくについて

片山裕治　議員

片山　氷川町まちづくり振興会のアンテナショップ氷川のしずくについての経営の協議、指導はされているのか。

農業振興課長　氷川のしずくについては、売上実績が年間2、654万9、000円と県緊急雇用補助金957万1、000円がありますので年額3、624万8、000円になりますが447万5、000円損益となっております。定期社員総会において、平成24年度は3、600万円に目標設定しており営業計画では、販売対策として店舗レイアウトを変更し、旬の農産物販売、青果物店頭販売及び配送事業の展開や試食販売の強化、サービス対策などを協議し、指導改善を行っております。

氷川町特産品を販売する氷川のしずく

片山　月平均300万円の売り上げを達成するには、今年度も厳しい状況で、赤字の時には経費をどこから補いますか。

農業振興課長　今後も営業努力をいたします。それと、ふるさとの雇用関係で補助金957万1、000円が24年度は入ってこなくなるわけですが、それを見込んだ形で営業努力や経費・人件費を削減していきます。それでも損益が発生したときは会社全体の利益で補填になります。

片山　アンテナショップとして成功するためには、町内の各種団体に協力をお願いし積極的に事業推進しないと継続することは難しくなると思いますが。

町長　町、商工会、農協、漁協、出荷協議会の皆様方でまちづくり振興会という会社が組織されております。当然、その経営の中の一環でいますので、これからも連携を密にしていくべきだろうというふうに思っております。

スマートインターチェンジについて

片山　インターチェンジ供用予定時期と管理運用形態でETC搭載車専用と運用時間帯に変わりはないか確認します。

企画財政課長　供用予定時期ですが、平成26年4月となっており変更はございません。また、管理運用形態はスマートインター建設事業そのものがETC専用といった要件になっており、これも変更はございません。運用時間においては、管理会社であるネクスコの予想通過車両と管理費により費用対効果を検討し、6時から22時となっております。

片山　高速道路料では夜間割引、深夜割引の料金設定もありますので、その時間帯で使えなければ企業誘致をしたいと言っても企業は来てくれませんので、時間帯については早めに協議していただいて、24時間態勢で運用できるように努力していただきたいと思いますけれども、どうでしょうか。

企画財政課長　最終的には24時間運用を目指すことが今一番重要というふうに考えております。それに伴った陳情、要望、協議は随時進めていきたいというように考えております。

インターチェンジ予定地

片山　今後ETC搭載車促進のための助成金等などの対策は考えているのか。

町長　ETCにつきましても、やはり町民の皆さんの福利厚生という部分ではどこまでやれるのかというのは、やはり精査をすべきだろうというふうに思っております。これからの課題であろうかなというように思います。